



今日のトピック **中国経済はやや減速も安定した成長  
デルタ型の感染動向に注目**

**ポイント1 中国経済はやや減速**

- 中国で16日、主要な月次経済指標が発表されました。前年同月比で、鉱工業生産は6月の+8.3%から7月は+6.4%、小売売上高は6月の+12.1%から7月は+8.5%となり、固定資産投資も1～6月の前年同期比+12.6%から1～7月は+10.3%とそれぞれ伸び率が鈍化しました。
- 発表元の中国国家統計局は、豪雨、国内・海外の新型コロナウイルス感染拡大を減速の理由として挙げています。

**ポイント2 幾何平均値の減速は緩やか**

- ただし、ロックダウンの影響を受けた昨年の反動を除外するために2年間の幾何平均で見ると、鉱工業生産は6月の+6.5%から7月は+5.6%、小売売上高は6月の+4.9%から7月は+3.6%、固定資産投資も1～6月期の+4.5%から1～7月は+4.2%と鈍化はしたものの、減速は緩やかです。中国経済はやや減速したものの安定した成長を維持しています。

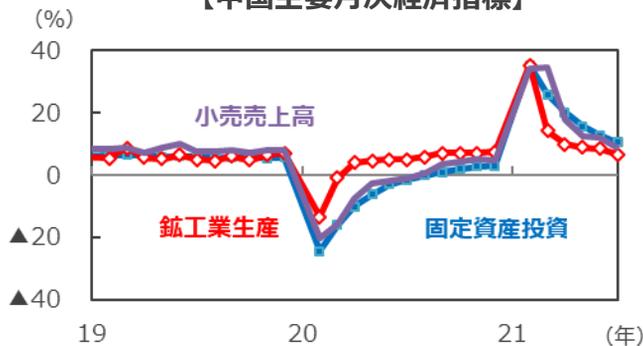
**今後の展開 デルタ型の感染状況に注目**

- アジア地域では新型コロナウイルスのデルタ型が拡大しており、中国でも感染が確認されています。中国政府は早期の検査と隔離、地区を限定したロックダウンによって対処しています。今後も中国は新型コロナウイルスの封じ込めを続けることで、景気への影響は限られると見ています。
- 一方、デルタ型の感染力の高さを考えると、封じ込めにはこれまで以上に厳格かつ広範な行動制限が必要となる可能性があります。中国のワクチン接種は欧米対比で遅れており、中国製ワクチンの有効性にも疑問が呈されていることなども考えると、中国におけるデルタ型の感染動向は注意して見ていく必要があります。

**ここもチェック!** 2021年8月16日「疫病に屈しない」ポートフォリオ戦略  
2021年8月11日 アジア・オセアニアリート市場はまちまち

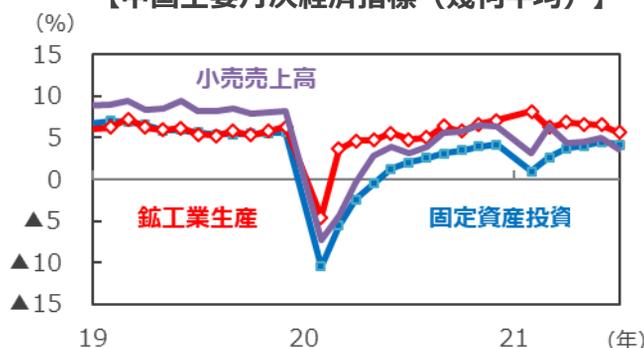
■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

【中国主要月次経済指標】



(注) データは2019年1月～2021年7月。  
前年同月比。固定資産投資は年初来累積の前年同期比。  
各年2月のデータは1～2月の年初来累計の前年同期比。  
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【中国主要月次経済指標（幾何平均）】



(注) データは2019年1月～2021年7月。上記グラフの2年幾何平均。  
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成